

# 2019年度 学校自己評価シート

認定こども園こどもむら 栗橋さくら幼稚園

目指すこども園像	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども達に未来を切り拓く能力を育むこども園</li> <li>保育者も共に学び、成長していくこども園</li> <li>地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園</li> </ul>
----------	---

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園教育保育要領改訂に伴い、保育課程を見直し、未来を切り拓く力を育む。</li> <li>保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。</li> <li>地域と協働し、安心・安全な子ども・子育ての環境を広げていく。</li> </ul>
------	---

達成度	
A	ほぼ達成（8割以上）
B	概ね達成（6割以上）
C	改善必要（4割以上）
D	不十分（4割未満）

学校自己評価							
年度目標				年度評価（令和2年3月31日 現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	生きる力や未来を切り拓く力を再考して、指導計画につなげていく。保育環境の充実をはかる。 多様な生活をおくる家庭や子ども、特別な支援を必要とする子どもが安定して園生活がおくれるような配慮をする。	保育課程・保育計画の見直し	保育課程の見直し、保育計画・日々の記録の見直し	保育課程や保育計画、日々の記録を教育保育要領に基づき見直しを行ったか。	保育アドバイザーのもと計画、記録の見直しをはかった。特別支援に関しては不十分。	B	PDCAサイクルにより、改善点を確認し、より高い保育の質を目指す。  園庭環境が充実していないため、環境整備をはかる必要がある。
		物的、人的保育環境の改善	人的環境の改善、保育室や園庭などの保育環境の見直し、改善	園庭、保育室、職員配置などの見直しを行ったか。	保育計画に基づいた環境図を作成し、環境改善をはかった。	B	
2	職員研修の充実と働き方の改善をはかる。保育教諭だけでなく、保育に携わる全職員が学び合える環境をつくる。	職員研修の充実	園内研修の充実（保育、特別支援、新人研修、人材育成）	講義型ではなく、新しい形の園内研修の充実を行ったか。	対話による園内研修、マネジメント研修、キャリアアップ研修等多くの研修を行った。	A	引き続き保育アドバイザー等による研修計画を充実させる。 多様な家庭対応の研修も有給消化率は100%を維持すること。シフトを工夫してより働きやすい環境へ。
		働き方の改善	シフトの見直し、有給消化率の向上	シフトの見直しを行い、有給休暇の消化率を100%を目指す。	シフト等、働き方改革を行った。有給消化率は100%を記録した。	A	
3	地域と連携しながら、在園児に関わらず、子どもを安心して子育てできる環境を目指す。子ども・子育て関係の情報発信や地域貢献を行う。	地域子育て支援の充実	一時預かり、園庭開放、子育て相談事業、子育てひろば等の拡充	各事業の利用者数等を前年を上回る。	各事業とも利用者数は前年よりも増加している。	A	子育て相談に改善が必要。外国籍家庭等への支援が必要  自治会とも発展的な協働が必要。地域清掃等は実施するべき。
		地域連携、地域貢献事業の取り組み	地域清掃、自治会連携、学習支援等	地域貢献事業の実施したか。	自治会との合同クリスマス会を開催。	B	

学校関係者評価
実施日：令和2年5月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等
保育計画は引き続き質を高くすること。ホールや園庭、保育室といった環境はまだまだ改善の余地あり、職員で協議の上改善の計画すること。
有給消化率100%達成は評価に値する。今後は人材育成により力を注ぐこと。
地域子育て支援拠点とは異なる、栗橋さくら幼稚園独自の地域子育て支援を充実させることが今後の課題。